

抗アレルギー点眼剤

フサコール®点眼液0.05%

Fusachol Ophthalmic Solution 0.05%

ケトチフェンフマル酸塩点眼液

承認番号	21900AMX00088000
薬価収載	2007年6月
販売開始	1998年7月

貯 法：室温保存
使用期限：外箱及びラベルに表示(3年)

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

販 売 名	フサコール点眼液0.05%
成 分	日局 ケトチフェンフマル酸塩
含 量(1mL中)	0.69mg (ケトチフェンとして0.50mg)
添 加 物	グリセリン、ベンザルコニウム塩化物、pH調節剤
性 状	無色～微黄色澄明の無菌水性点眼液
pH	4.8～5.8
浸 透 圧 比	0.7～1.0(生理食塩水に対する比)

【効能・効果】

アレルギー性結膜炎

【用法・用量】

通常1回1～2滴を1日4回(朝、昼、夕方及び就寝前)点眼する。

【使用上の注意】

** 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
過 敏 症	発疹、眼部腫脹、眼瞼浮腫、顔面浮腫、眼瞼炎、眼瞼皮膚炎、そう痒感
眼	眼痛、霧視、眼乾燥、結膜炎、羞明、結膜充血、刺激感、角膜びらん
そ の 他	頭痛、口渇、眠気

2. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

** 3. 適用上の注意

1) 投与経路：点眼用にのみ使用すること。

2) 投与时：

- 点眼した時に液が眼瞼皮膚等についた場合は、すぐにふき取るよう指導すること。
- 薬液汚染防止のため、点眼のとき、容器の先端が直接目に触れないように注意するよう指導すること。
- ベンザルコニウム塩化物によりソフトコンタクトレンズを変色させることがあるので、ソフトコンタクトレンズを装着している場合は、点眼前にレンズを外し、点眼15分以上経過後に再装着すること。

【薬効薬理】

1. 薬理作用

肥満細胞や好塩基球・好中球からのヒスタミン、SRS-A等のケミカルメディエーター遊離抑制による抗アレルギー作用と特異的H₁-受容体拮抗による抗ヒスタミン作用を示す。

2. 結膜炎モデルにおける作用¹⁾

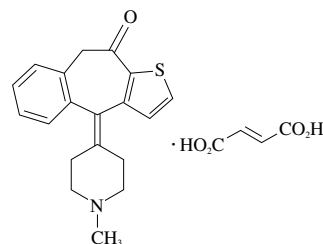
実験のアレルギー性結膜炎モデル(ラット、モルモット)において、結膜での色素漏出量を指標として抗アレルギー作用を検討したところ、本剤の点眼投与により、色素の漏出を抑制した。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ケトチフェンフマル酸塩 (Ketotifen Fumarate)

化学名：4-(1-Methylpiperidin-4-ylidene)-4H-benzo[4,5]cyclohepta[1,2-b]thiophen-10(9H)-one monofumarate

構造式：



分子式：C₁₉H₁₉NOS · C₄H₃O₄

分子量：425.50

性 状：ケトチフェンフマル酸塩は白色～淡黄白色の結晶性の粉末である。

メタノール又は酢酸(100)にやや溶けにくく、水、エタノール(99.5)又は無水酢酸に溶けにくい。

融 点：約190℃(分解)

【取扱い上の注意】

〈安定性試験〉

ポリエチレン容器に充てんしたものをを用いた長期保存試験(室温、3年間)の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。²⁾

【包 装】

5 mL×5本、5 mL×10本、5 mL×50本

【主要文献】

- メデイサ新薬(株)社内資料 [薬効薬理に関する資料]
- メデイサ新薬(株)社内資料 [安定性試験]

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

日東メディック株式会社 おくすり相談窓口

〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24

電話：03-3523-0345

FAX：03-3523-0346

発売元
日東レディック株式会社
富山県富山市八尾町保内1-14-1

*製造販売元
メディサ新薬株式会社
大阪市淀川区宮原5丁目2-27

®登録商標

Z09 B161015

① ② ③ ④ A